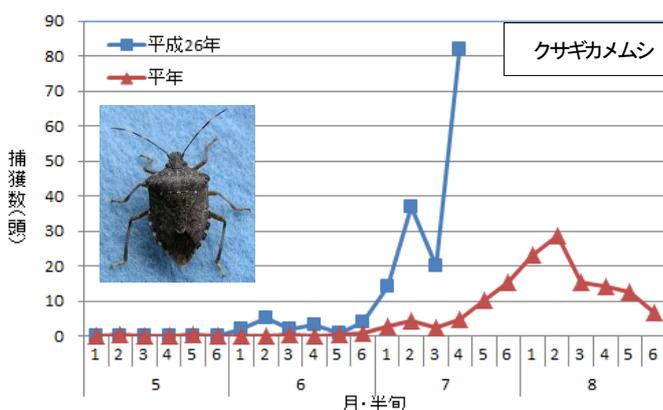
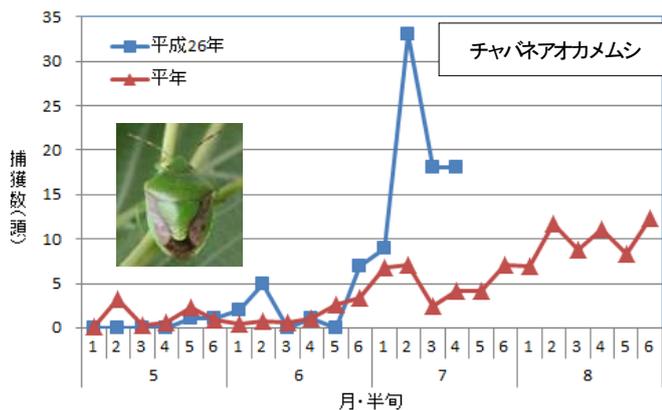


## 果樹カメムシ類の多発生に注意!!

チャバネアオカメムシやクサギカメムシは、ナシやカキ、ブドウ等の果実を吸汁することで被害をもたらします。今年は予察灯における捕獲数が非常に多く、今後1ヶ月間の気温は平年並みか高い予想で活動に好適であることから、カメムシ類による被害が多発する恐れがあります。早期発見、早期防除を徹底し、被害を防ぎましょう。

### 1 予察灯における捕獲状況

平成26年4月1日から7月22日までの農業試験場予察灯における捕獲数は、チャバネアオカメムシが101頭、クサギカメムシが149頭で、それぞれ平年より非常に多く、過去の多発年と比べても、チャバネアオカメムシはほぼ同じ、クサギカメムシは約3倍となっています。また、7月以降、両種とも急激に増加しています。



農業試験場予察灯 (100W 水銀灯) における捕獲状況

### 2 防除対策

- ・果樹カメムシ類の本格的な飛来はすでに始まっていると考えられるため、圃場周辺も含めて見回りを徹底するとともに、カメムシを確認したら、すみやかに防除する。
- ・また、カメムシの飛来は長期間に及ぶため、防除しても見回り続け、見つけ次第、すみやかに防除する。
- ・果樹カメムシ類は、夜行性であるため、防除は夕方が最も効果的である。
- ・有袋栽培で果実が肥大して袋に密着すると、袋の上から吸汁されることがあるので注意する。
- ・ナシやブドウは収穫時期が近いため、薬剤散布に当たっては、必ず収穫前日数を確認する。
- ・薬剤は平成26年度福井県農作物病害虫防除指針を参照。

☆最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp301.jsp>) を確認して下さい